

お酒による危険なトラブルを防いでくれる リストバンド「PROOF Wearable」

CASE STORIES

March 27 2017

血中のアルコール濃度を常にモニターし、飲みすぎや飲酒運転を防止してくれる



自分では測れない「お酒の飲みすぎ」がトラブルへ

ついお酒を飲みすぎて気分が悪くなったり、泥酔して人に迷惑をかけてしまったり、はたまた翌日ひどい二日酔いに苦しめられたり……そんなお酒の失敗に心当たりがある人も多いだろう。適度なお酒は楽しいものだが、飲みすぎは危険だ。自分ではしっかり寝たつもりでも、翌朝アルコールがまだ体内に残ったまま車を運転すれば、飲酒運転につながる。

とはいえ、お酒の席で自分がどれくらい酔っているのかを正確に測るのは難しいだろう。個人差があるだけでなく、そもそも飲み会にアルコール検査器を持ち込んでいちいち息をふきかけるわけにもいかない。

そんな問題を解決すべく開発されたのが「PROOF Wearable」だ。PROOFはなんと、身につけるだけで体内のアルコール濃度をチェックし、飲みすぎを通知してくれる。つまり誰でも簡単にお酒のトラブルを防止できるようにしてくれるデバイスなのだ。

皮膚から体内のアルコール濃度を検知し、通知してくれるウェアラブルデバイス

PROOFに搭載されているセンサーが、皮膚との接地面から汗を感知。血中のアルコール濃度を測定する仕組みになっている。ユーザーはお酒を飲む前にセンサーをオンにし、アラートを設定するだけ。あとはPROOFのリストバンドが連続的に体内のアルコール濃度を測定し、一定の濃度を超えるとユーザーにアラートを出してくれる。これによってお酒の飲みすぎを回避することができる。

また、PROOFは専用のスマートフォンアプリと連携しており、いつでもスマートフォンを見るだけで自分の血中アルコール濃度をチェックできる。従来の一般的なアルコールチェッカーのように息をふきかける動作もいらないので、飲み会の間でも簡単に数値を確認できるのだ。リストバンドのデザインもシンプルで普段使いがしやすく、スマートに装着することができる。

さらにPROOFはお酒を飲んだ後、「いつ安全に運転できるか」も計算して教えてくれるため、思わぬ飲酒運転やそれによる事故のリスクも回避できるのだ。

PROOFを開発したのは米国のMilo Sensors社。彼らは他の大手ウェアラブル企業より2年も先行してこの開発を進めており、2017年中に出荷の目処が立っているという。米国では飲酒運転事故で毎年多くの人が亡くなっているが、PROOFを利用すれば事故を起こす可能性を減らし、お酒を安全に楽しむことができるだろう。

ここがACTIVE CARE

リストバンドを身につけるだけで血中アルコール濃度を測定し、お酒によるトラブルや事故を未然に防ぎ、安全快適に飲酒を楽しむ生活を可能にしている

参 考

参考：

PROOF製品概要

・ <https://www.proofwearable.com/>

Milo Sensor社

・ <http://www.milosensor.com/>